

(様式3)

## 公共事業再評価調書

番号	道路-1	事業担当局課	泉区泉土木事務所	
事業名	県道阿久和鎌倉（萩丸交差点）道路改良事業		採択年度	平成 21 年度
施工場所	泉区中田西一丁目 805 番地先から中田西三丁目 800 番地先まで		経過年数	5
目的及び 事業概要	<p>目的 萩丸交差点は、県道阿久和鎌倉線と市道が交差している交差点です。 バス路線にもなっている県道阿久和鎌倉線と南西方向に向かう道路は、歩道が整備されていませんが、小学校の通学路に指定されております。 また、萩丸交差点は右折レーンもないため慢性的な渋滞が発生しています。 本事業は、萩丸交差点に右折レーンを設置するとともに、周辺道路に歩道の設置を行い、慢性的な渋滞の解消及び歩行者の安全の確保を図ります。</p> <p>事業概要 計画延長 約 380m(100m)、標準幅員 11m(車道 7m・歩道 2.0m×2)</p>			
			当初(事業採択時)	変更(平成 26 年度)
	事業期間		平成 21 年度～平成 26 年度	平成 21 年度～平成 31 年度
	事業費	合計	997 百万円	1,455 百万円
		国費	548.35 百万円	800.25 百万円
		市費	448.65 百万円	654.75 百万円
	変更内容	<p>事業実施段階で詳細に検討した結果や、借家人が想定より多かつたことにより事業費が増加しました。 また、用地交渉等が難航しており、事業に多くの時間を要しているため、事業期間を変更しました。</p>		
上位計画等	<p>横浜市中期4か年計画(2014～2017)の施策 28「市民に身近なきめ細かい交通機能の充実」で、「歩行者に安全確保や地域の利便性の向上」として、「バス路線などにおける道路の改良など、市民の利便性の向上に資する道路改良を推進します。」としています。 また、国土交通省は平成 24 年度に、萩丸交差点を首都圏の主要渋滞箇所位置づけています。</p>			
関連事業	特になし			
事業の 必要性	事業を巡る 社会経済情 勢等の変化	<p>当該事業区間は通学路となっておりますが、歩道がなく、歩行者の安全性の確保に課題があり、地元やスクールゾーン協議会からも安全性の向上について要望されています。 また、右折車両による慢性的な渋滞が生じており、バスが定時運行できないなど、公共交通の定時運行に支障があるなどの課題があり、早急に整備を行う必要があります。</p>		
	事業の 投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)		事業全体	残事業
		割引率	4%(2%)	
		総便益(B)	17.6 億円(26.7 億円)	17.6 億円(26.7 億円)
		総費用(C)	14.4 億円(13.3 億円)	5.3 億円(4.7 億円)
		費用便益比(B/C)	1.2(2.0)	3.3(5.7)
	感度分析 [交通量-10%]	0.9(1.5)	2.4(4.2)	
<p>本事業区間は歩道形態がないため、歩道を設置することにより歩行者の安全が確保されます。また、車道の拡幅整備を行うことで、時間の短縮が図れ、バス利用者等の利便性が向上し、渋滞の緩和にも寄与します。</p> <p>[その他特記事項]特になし</p>				

事業の進捗状況	事業進捗率%	残事業の内容 平成 28 年度に用地買収を概ね完了し、平成 28 年度から県道阿久和鎌倉の萩丸交差点以南より工事に着手し、完成部分から順次供用し、平成 30 年度までに完了する予定です。
	57.7%	
	用地取得率%	
	54.4%	
	供用等の状況	
未供用		
事業の課題及び進捗見込み	本地区は現道拡幅であり、店舗や戸建て住宅が多く、買収に伴い移転先の確保と建築工事が伴うため、用地取得に多くの時間を要していましたが、用地買収の進捗とともに地元の事業に対する理解が進み、未買収用地 10 筆のうち 6 筆の地権者から内諾を得ており、平成 27 年度中に用地買収を終え、平成 28 年度に萩丸交差点の南側から工事を進め、平成 30 年度までに工事を完成する予定です。	
その他 (コスト削減項目等)	工事施工においては、建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処理費のコスト削減を行うとともに、舗装・構造物の基礎等については、再生材を使用する等可能な限りコスト削減に努めます。	
その他	特になし	
添付資料	有 ・ 無	
対応方針	継続	計画通り(上記計画を実施)※ 1
		一部見直し(上記計画を変更)※ 2
		【見直し内容】
中 止		

対応方針とした理由	<p>本事業は、立場地区、下和泉地区、深谷地区を結ぶ交通結節点となっている萩丸交差点の改良であり、慢性的な渋滞が生じていること、通学路にもかかわらず、歩道もなく歩行者の安全の確保が十分でないことから早期の整備を望む声が、市民及びバス事業者からも寄せられています。</p> <p>また、用地取得も平成 28 年度中に完了する見込みであり、一部拡幅済みであることから、計画通り事業を継続する必要があると判断しています。</p>
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※ 1 : 既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

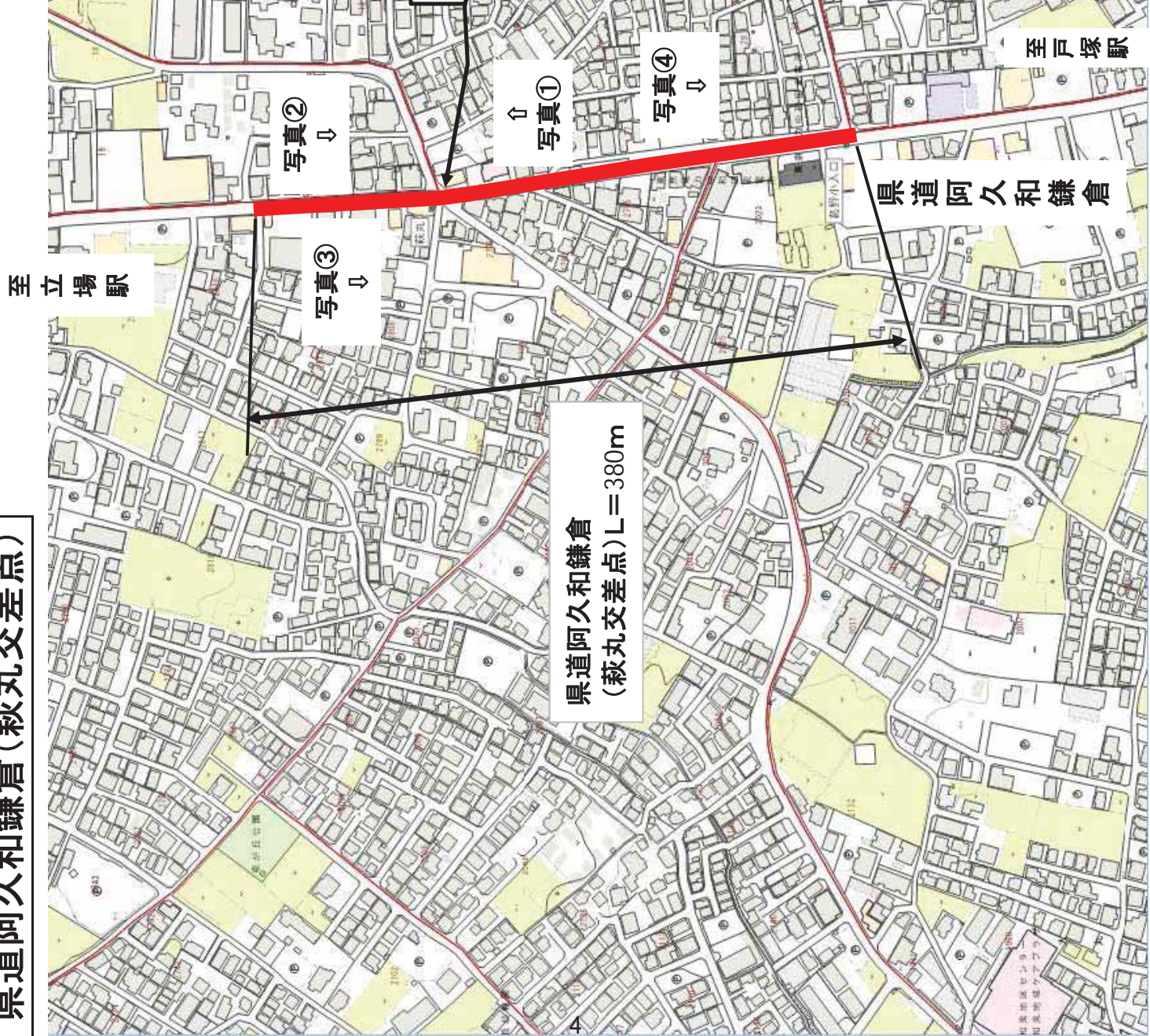
※ 2 : 今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。

# 県道阿久和鎌倉(萩丸交差点)道路改良事業

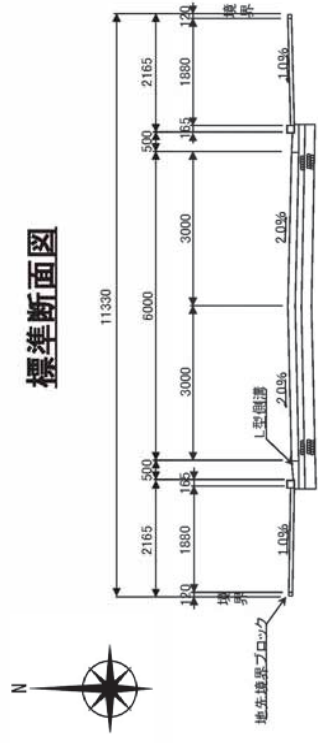


凡 例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:red;"></span>	事業区間
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:blue;"></span>	県道阿久和鎌倉
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:yellow;"></span>	主要地方道横浜伊勢原
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:orange;"></span>	環状4号線
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:green;"></span>	中田さちが丘線

# 県道阿久和鎌倉(萩丸交差点)



## 標準断面図



県道阿久和鎌倉(萩丸交差点)写真①



県道阿久和鎌倉(萩丸交差点)写真②



県道阿久和鎌倉(萩丸交差点)写真③



県道阿久和鎌倉(萩丸交差点)写真④



事業進捗状況

県道阿久和鎌倉（萩丸交差点）

(単位：百万円)

年度	単年度事業費			事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(m <sup>2</sup> )	累計(m <sup>2</sup> )	用地取得率※3
H20	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%
H21	6	0	6	0.4%	0.0%	0.4%	0	0	0.0%
H22	123	106	17	8.9%	7.3%	1.6%	142	142	8.3%
H23	117	114	3	16.9%	15.1%	1.8%	154	296	17.3%
H24	145	139	6	26.9%	24.7%	2.2%	152	448	26.2%
H25	311	306	5	0.0%	0.0%	0.0%	297	745	43.5%
H26	130	120	9	0.0%	0.0%	0.0%	207	952	55.5%
合計	832	785	47				952		

※1 事業進捗率（合計）は全体事業費（様式3参照）に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和

※2 事業進捗率（用地補償、工事委託）は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合

※3 用地取得率は事業全体の取得面積（様式3参照）に占める各年度までの取得面積の割合

## 事業進捗状況 県道阿久和鎌倉（菟丸交差点）

